

日本鉄鋼協会創立90周年記念シンポジウム

1915（大正4）年に設立された日本鉄鋼協会は、本年2005（平成17）年に創立90周年を迎えました。これを記念する事業の一環として、2005年3月28日、経団連会館にて、国内シンポジウム「日本の未来を担う鉄鋼材料―安心・安全・環境をキーワードとして」および国際シンポジウム「世界の鉄鋼首脳―社会に貢献する鉄鋼技術の未来を語る」を午前、午後に分けて開催しました。当日は、多くの方々にご参加いただき、大変盛況なシンポジウムとなりました。

このシンポジウムは、名古屋大学大学院・浅井滋生教授を委員長とする「90周年記念事業企画委員会」が企画したものです。委員会は2003年2月から、90周年を記念するに相応しい企画案について活発な意見交換を行い、準備を進めてきました。両シンポジウムは、これまでの記念事業には見られなかった催しで、当日の浅井委員長の開会挨拶でも紹介されたように「100周年に結びつける」という基本的考えに立ち、特別企画として開催されたものです。

国内シンポジウム 「日本の未来を担う鉄鋼材料―安心・安全、環境をキーワードとして」開催報告

90周年国内討論会ワーキンググループ

国内シンポジウムは、鉄を作る側の方々からではなく、鉄を使っていただく方々、周辺分野で鉄と関わりの深い方々から、鉄をどう使うか、どう生かすか、さらに今後日本の鉄の果たすべき役割などについての、ご期待やご注文を率直に述べていただき、次代の鉄の使い方と作り方についての方向性を探っていこうという趣旨で企画されました。

浅井委員長の「これまでは鉄鋼協会の中で行う議論は、鉄鋼材料の必要性や優位性について、我々専門家の立場から議論してきました。けれども今回は、鉄を使っていただく方や鉄の周辺からものを見ている方に御越しいただきました。たっぷりご静聴いただき、これからの鉄鋼材料について考える機会となれば幸いです」との開会挨拶で始まりました。

その後、独立行政法人物質・材料研究機構長井寿氏の司会により、各界でご活躍の6名の方にご講演いただきました。



写真1 90周年記念事業企画委員会・浅井委員長の挨拶